

ゆめ む 夢に向かって

がっこうちょう もり あい こ
学校長 森 愛子

よそう こ 予想を超えたメダルラッシュで盛り上がった平昌オリンピックが終わりました。フィギュアの羽生結弦選手を始めとして、日本中が興奮する場面も多くありましたが、市沢小学校では、本校卒業生の戸塚優斗選手が出場した14日(水)のノーボードハーフパイプの決勝戦で盛り上がりました。10時半からのスタートでしたので、中休みと重なり、教室の大型テレビで友達と一緒にわいわいがやがや楽しく観戦しました。一年生の教室からは「戸塚、がんばれ」「戸塚、がんばれ」と声をそろえた可愛い声援が飛んでいました。私は、4・5組の教室で、2年生も一緒に観ましたが、ハーフパイプを初めて見た子どもも多く、ダブルコークなどに目を丸くしつつ、大技には歓声がわき、転倒すると心配の音が上がり、わくわくどきどき応援していました。

とつかせんしゅ いっかいめ たか かいてんわぎ かるがる き さいご わぎ お
戸塚選手は、一回目は高さがある回転技を軽々と決めていましたが、最後の技で惜しくも転倒し、挑んだ二回目。勢いをつけて高く飛び出したジャンプが、ハーフパイプの少し外側に飛び出し、へりに体を打ちつけ、パイプの底へ落ちてしまいました。大きな声を出し、張り切って応援していた子どもたちは一瞬静かになり、心配の音が上がりました。現地で応援されていたご家族やご友人のご心配、そして、もちろん、ご本人の悔しさ等に思いをはせながらも、戸塚選手のおかげで、市沢の子どもたちが先輩の「夢」を友達とともに応援するという貴重な経験を与えてくださったことに感謝するばかりです。

かれい わぎ きけん とな あ しんけん と く にほん
華麗な技と危険が隣り合わせのスポーツに、真剣に取り組み、ついにオリンピック日本代表の座をつかんだ先輩がいること、こんなにすばらしく、嬉しいことはありません。

ゆめ む とつかせんしゅ これまでたくさん練習し、血のにじむような努力をしてきたことでしょう。そして、つかんだにほんだいひょう さらに、よせん を勝ち抜き、しんしゅつ けっしょうせん 進出した決勝戦。とつかせんしゅ がかなえた「ゆめ」はひとりだけのもので終わらず、こうはい いちさわしょうがっこう こ もたちにもゆめ あた を与えてくれました。「自分も頑張れば夢がかなうんだ。」「つらいことがあっても、あきらめずにがんばろう」と先輩の姿に、ゆうき じしん 勇気と自信をいただきました。

とつかせんしゅ こんご かつやく いちさわしょうがっこう こ せいちょう みまも
戸塚選手の今後の活躍とともに、市沢小学校の子どもたちのさらなる成長を見守っていただけたらと思います。そして、ねんご べきんかいさい とうき がっこう ちいき 一緒に戸塚選手を応援したい、それが、いちさわしょうがっこう ゆめ 市沢小学校の夢です。

